

《最近の県内経済》 (2024年3月を中心として)

今月の概要

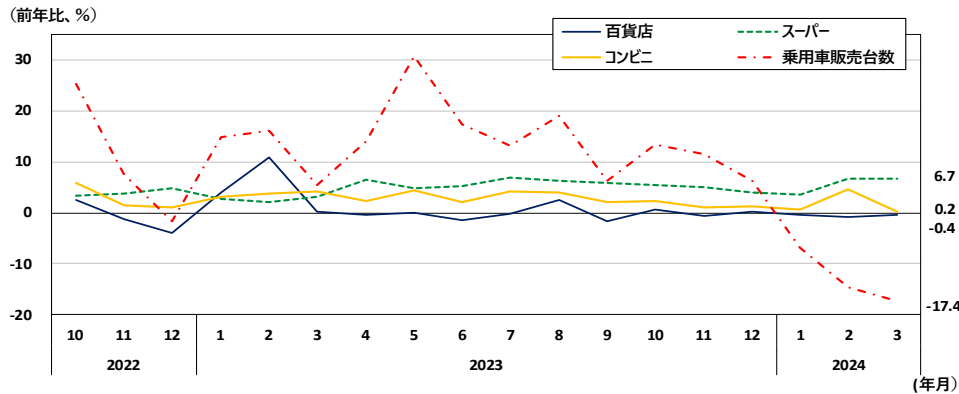
横ばいの動きとなっている。



1 個人消費 ~横ばいの動きとなっている

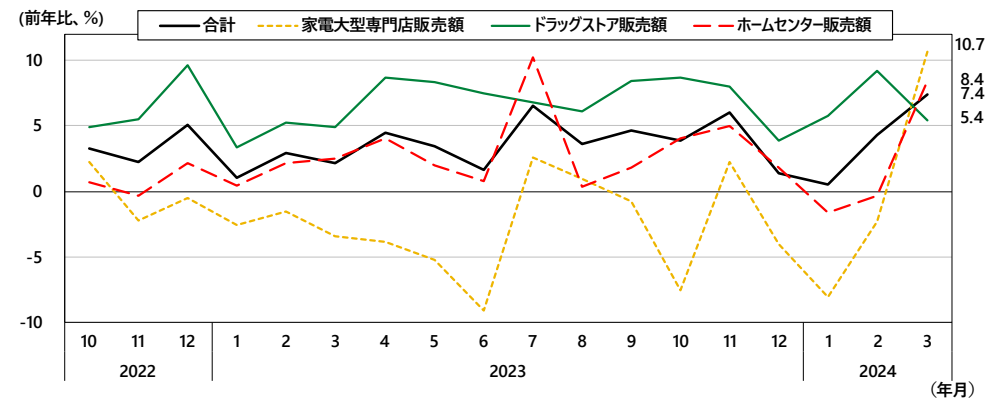


百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、横ばいの動きとなっている。

3月の百貨店およびスーパーの販売額（店舗調整前）は、百貨店は145億円で前年比0.4%減（3か月連続の減少）、スーパーは1,079億円で同6.7%増（18か月連続の増加）となった。また、コンビニ販売は567億円で同0.2%増と29か月連続の増加となった。

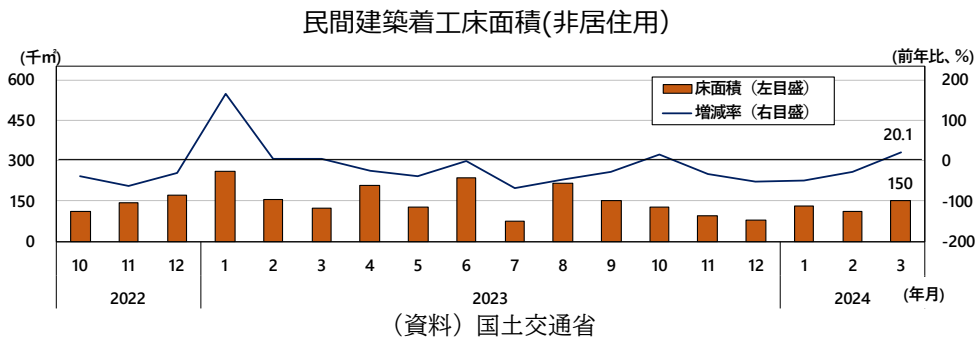
また、乗用車販売は、認証試験不正による出荷停止の影響などが続いており、前年比17.4%減と3か月連続の減少となった。内訳をみると、普通車が同比5.2%減（2か月連続の減少）、小型車が同比30.8%減（7か月連続の減少）、軽乗用車が同比24.6%減（5か月連続の減少）となった。

3月の専門量販店販売額は、839億円で前年比7.4%増と19か月連続の増加となった。内訳をみるとドラッグストアが433億円で同5.4%増（22か月連続の増加）、家電大型専門店が217億円で同10.7%増（4か月ぶりの増加）、ホームセンターが189億円で同8.4%増（3か月ぶりの増加）といずれも増加となった。

関東1都6県の消費者態度指数（原数値）は、2月〈39.5〉、3月〈40.7〉、4月〈39.2〉と推移している。

## 2 設備投資 ~投資計画は強いものの、足元弱含んでいる

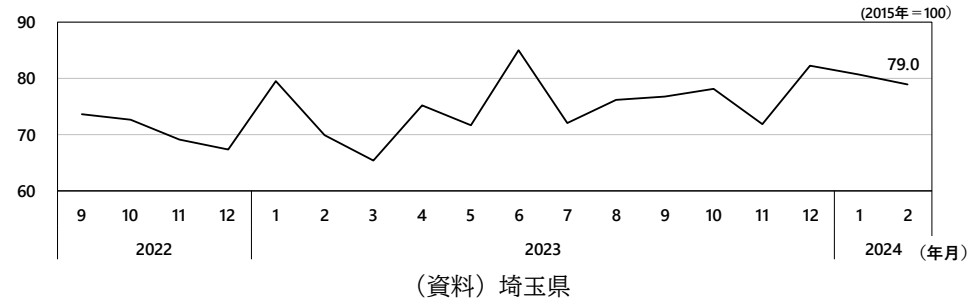
前月比



3月の民間建築着工床面積（非居住用）は、150千㎡で前年比20.1%増と5か月ぶりの増加となった（5か月後方移動平均では前年比33.3%減）。用途別にみると、事務所、工場及び作業場、病院・診療所は減少したものの、店舗、倉庫、学校の校舎はいずれも増加した。

## 資本財出荷指数(季節調整済)

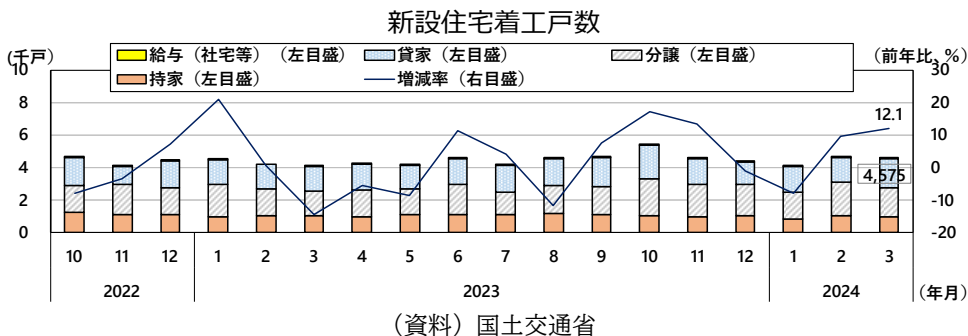
(2015年=100)



2月の資本財出荷指数（季節調整済）は79.0で、前月比2.2%減と2か月連続の減少となった（5か月後方移動平均では、前年比0.4%増加）。当研究所が昨年8月に実施した「設備投資動向調査」では、企業の設備投資計画額は、前年比増加している（全産業前年比+8.8%）。

## 3 住宅建設 ~一進一退

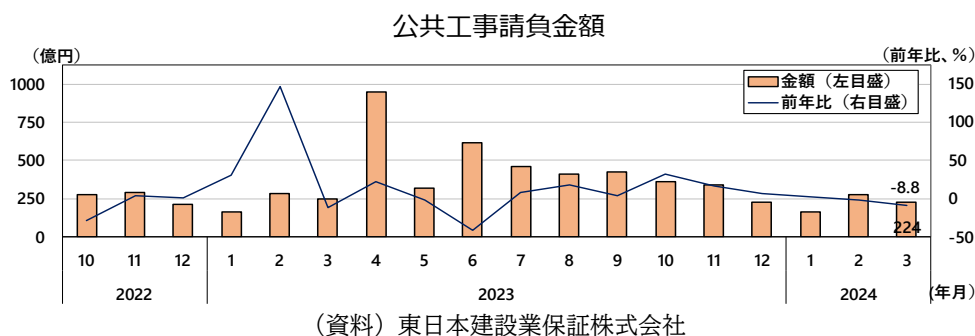
前月比



3月の新設住宅着工戸数は、4,575戸で前年比12.1%増と2か月連続の増加となった（5か月後方移動平均では4.9%増）。利用関係別にみると、持家（930戸）が前年比9.4%減、分譲一戸建て（1,244戸）が同3.3%減となったものの、貸家（1,830戸）が同17.2%増、分譲マンション（549戸）が同177.3%増加した。

## 4 公共工事 ~横ばいとなっている

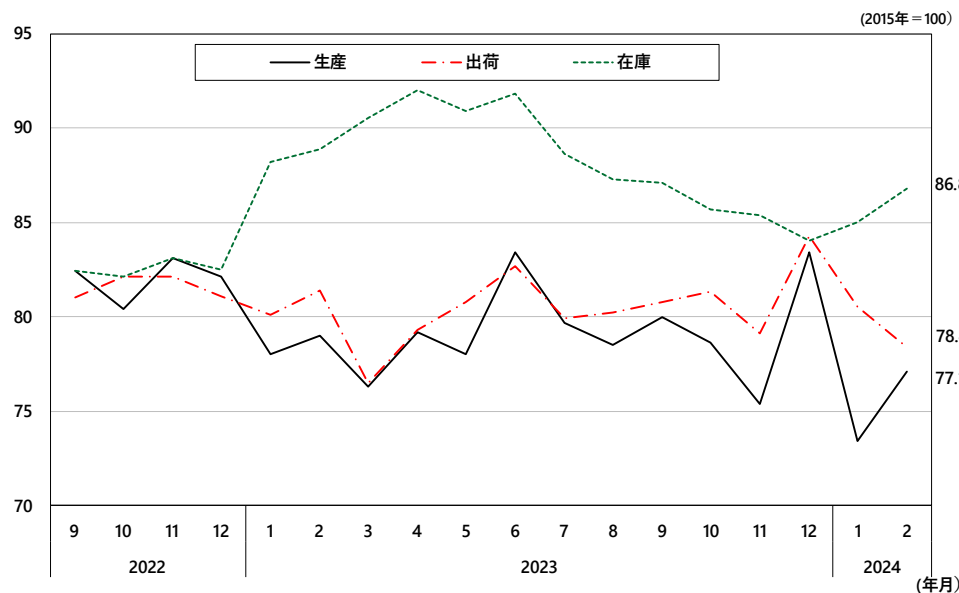
前月比



3月の公共工事請負額は224億円、前年比8.8%減となった（2か月連続の減少）。5か月後方移動平均では前年比3.1%増で推移。発注者別の前年比をみると、国、独立行政法人等、市区町村は増加したものの、都道府県は減少した。

## 5 生産活動～弱含んでいる ➡ 前月比

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



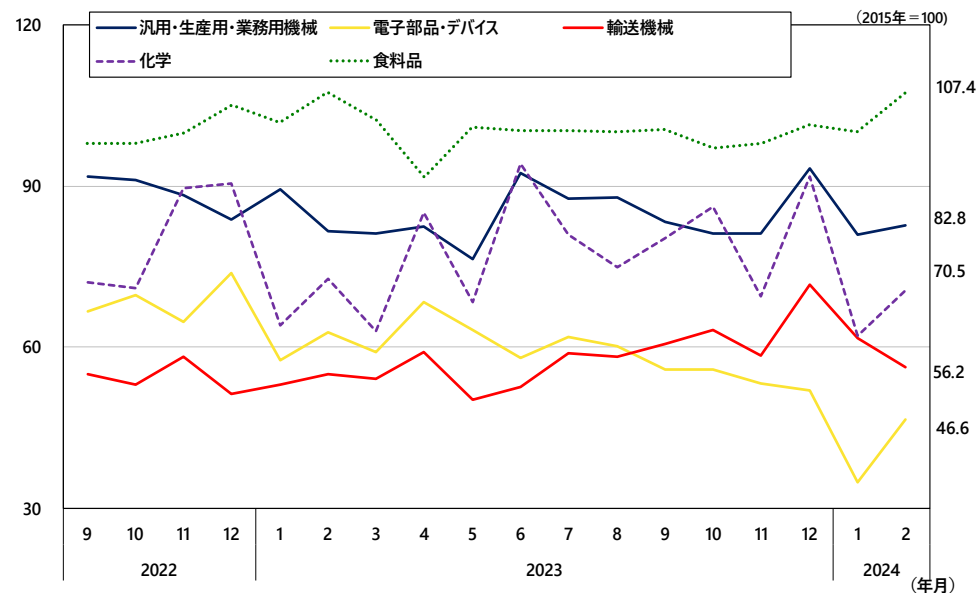
(資料) 埼玉県

2月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、77.1で前月比5.0%上昇した(2か月ぶりの上昇)。輸送機械(自動車エンジン、乗用車)、生産用機械(フラットパネル・ディスプレイ製造装置)などが低下したが、化学(医薬品、印刷インキ)、食料品(炭酸飲料、チョコレート)などが上昇した。

出荷指数(同)は、78.4で同2.6%低下した(2か月連続の低下)。食料品(炭酸飲料、チョコレート)、業務用機械(医療用機械器具、精密測定器)など上昇したが、化学(医薬品、合成樹脂塗料)、輸送機械(乗用車、自動車エンジン)などが低下した。

在庫指数(同)は、86.8で同2.1%上昇した(2か月連続の上昇)。生産用機械(整地機械、マシニングセンタ)、パルプ・紙・紙加工品(段ボール原紙、紙器用板紙)などが低下したが、電気機械(鉛蓄電池、HIDランプ)、輸送機械(乗用車、けん引車)などが上昇した。

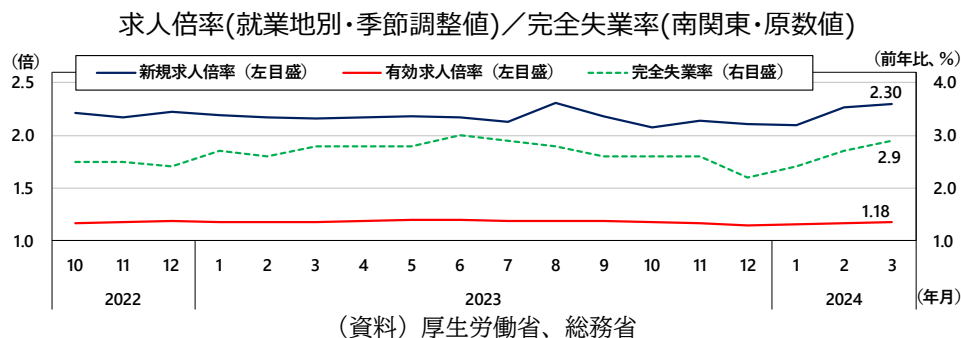
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、107.4で前月比7.2%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、82.8で同2.3%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、46.6で同33.9%上昇し、4か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、56.2で同8.9%低下し、2か月連続の低下となった。
- ◆ 化学(同)は、70.5で同13.3%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。

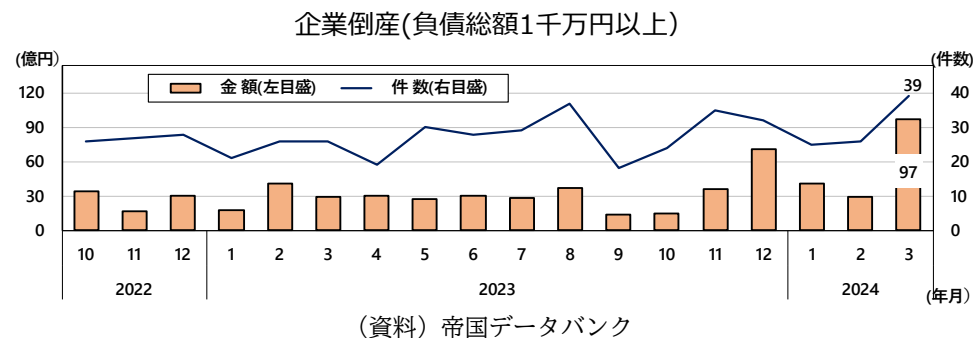
## 6 雇用情勢 ~緩やかに持ち直している ⇒ 前月比



3月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.18倍で前月比0.01ポイント上昇した(3か月連続の上昇)。また、新規求人倍率(同)は、2.30倍で前月比0.03ポイント上昇した(2か月連続の上昇)。

完全失業率(南関東、原数値)は、2.9%で前年同月比0.1ポイント上昇した(前年同月比2か月連続の上昇)。

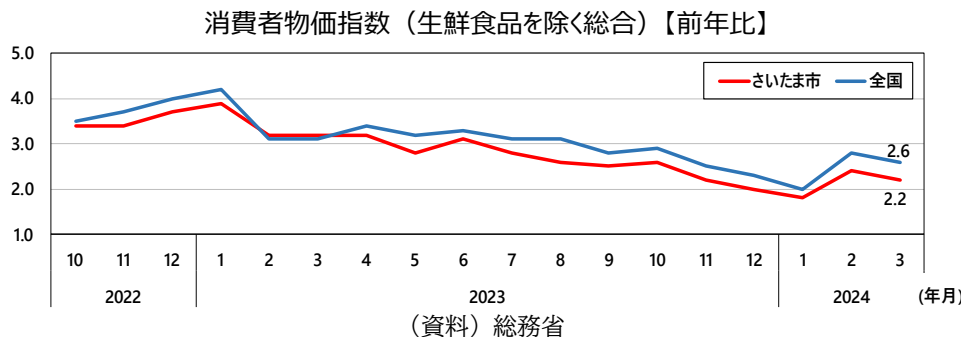
## 7 企業倒産 ~増加傾向にある ⇒ 前月比



3月の企業倒産件数は39件で前年同月比13件の増加となった。また、負債総額は97億円で同比68億円の増加となった(5か月移動平均でも、件数は前年比5件の増加、負債総額は同比28億円の増加)。

業種別にみると、建設業とサービス業が最多でそれぞれ9件。次いで製造業が7件、小売業が6件となっている。主因別では、販売不振が33件となっている。

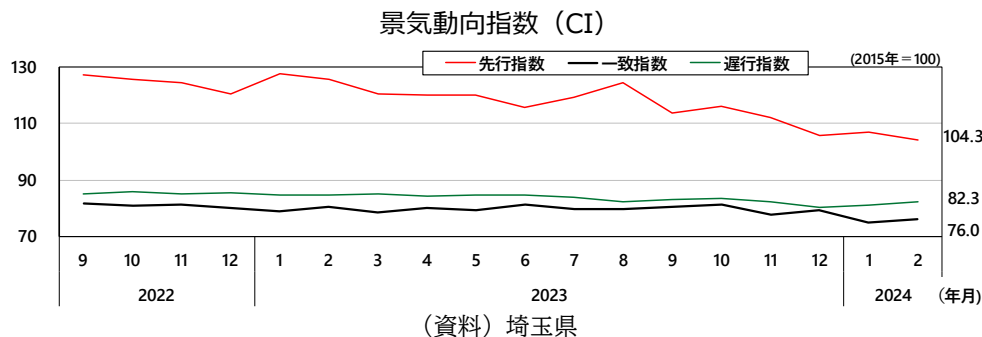
## 8 消費者物価 ~上昇率が高止まりしている ⇒ 前月比



2月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、106.1で前年同月比2.2%上昇した(30か月連続の前年同月比上昇)。

光熱・水道(ガス代など)は下落したものの、食料(調理食品など)や教養娯楽(旅行・宿泊費など)などが上昇し、全体を押し上げている。

## 〈参考〉景気動向指数(CI) ~足踏みを示している ⇒ 前月比



- 2月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、76.0で前月比1.2ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、104.3で同2.6ポイント下降し、2か月ぶりの下降となった。
- CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、82.3で同1.3ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。